記者発表資料

平成26年1月29日
東北地方整備局
秋田河川国道事務所

日本海東北自動車道
金浦IC～仁賀保IC～にかほ市両前寺間
開通から１年、救急搬送支援、広域物流ルートとして貢献

平成２４年１０月２７日に開通した日本海東北自動車道のにかほ市金浦から同市両前寺までの区間（延長８．２km）において、開通からおおむね１年後の整備効果をとりまとめましたのでお知らせします。

①．搬送時患者負担の少ない日東道を利用

■開通後の総搬送件数の約９０％が開通区間を利用し、救急搬送の主経路として日本海東北自動車道が定着

②．日本海ルートにおける物流の効率化を支援

■速達性や信頼性が向上し、安定した広域物流ルートを構築

③．渋滞の大幅緩和、地域交通の定時性向上

■並行する国道７号の交通量は約３割減少、大型車は半減

■仁賀保前田交差点の渋滞長、通過時間が最大で９０％減少

■渋滞緩和により現道の速度も向上。特に、速度が低下する冬期においても効果を発揮

【記者発表先】：秋田県政記者会、秋田魁新報本荘支局

問　合　せ　先
国土交通省　東北地方整備局　秋田河川国道事務所 TEL　018－823－4167（代表） 副所長（道路担当）　今野　敬二　（内線205） 調査第二課長　角舘　清典　（内線451）

【開通１年後】日本海東北自動車道 金浦IC～仁賀保IC ～にかほ市両前寺が開通して

（平成24年10月27日開通）

- 救急搬送ルートとして定着
- 広域的な物流交通の効率化を支援
- 国道7号の渋滞が緩和し定時性向上

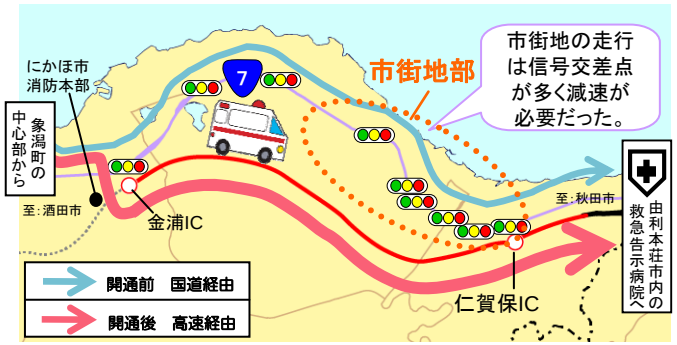




① 搬送時患者負担の少ない日東道を利用

・にかほ市からの総搬送件数 974件のうち、**863件（89%）が日東道を利用、救急搬送の主経路として定着。**

▼ にかほ市象潟町から救急告示病院までの救急搬送ルート



▼搬送実績
（にかほ市消防本部ヒアリングより）



救急搬送の約90%が日本海東北自動車道を利用

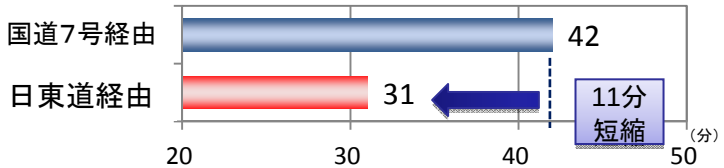
・一般道路では、加減速により頭に血が上り血圧が上昇し、患者に負担がかかります。高速道路が出来て**救急搬送の状況は格段に良くなっています。**

・命に関わる現場では**1分1秒をあらそう**ので、開通による**時間短縮は大きい**と思います。

（にかほ市消防本部ヒアリングより）

【参考】高速道路の延伸により、にかほ市（象潟町中心部）から由利組合総合病院（二次医療施設）までの所要時間が 42分→**31分に**。

▼にかほ市象潟町中心部から由利組合総合病院までの所要時間（ピーク時）



資料：H22道路交通センサス速度（ピーク時）を基に算出。金浦IC～仁賀保IC（両前寺）は規制速度を採用。

▼高速を走行する救急車両

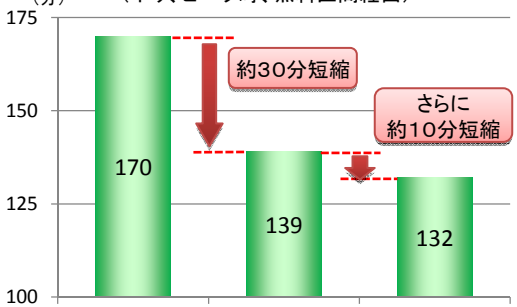


日本海東北自動車道の開通による効果

② 日本海ルートにおける物流の効率化を支援

・高速道路ネットワークの延伸により、**速達性や信頼性が向上し、安定した広域物流ルート**を構築。

▼鶴岡市から秋田市までの所要時間の変化
（下り、ピーク時、無料区間経由）



資料：市役所間の所要時間（高速道路は無料区間のみ利用）。
①：H24民間プローブデータから算出（4～6月、平日）。
②：H24民間プローブデータから算出（4～6月、平日）。
③：H25民間プローブデータから算出（4～6月、平日）。

▼日本海東北自動車道における
整備状況の変化



【Topic】物流への効果と期待

（運送会社ヒアリングより）

＜山形県鶴岡市から秋田市へ石油類を輸送＞

・開通前より**所要時間が10分位短縮し、渋滞の心配が減少した。**
・信号待ち等による停止発進が減少しドライバーへの負担が減った。
・**未開通区間の早期整備**を希望します。

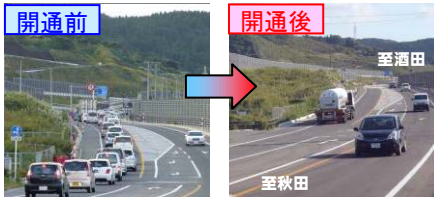
＜秋田市から山形県庄内町へセメント類を輸送＞

・開通前よりも所要時間が読めるようになったため、**配車に余裕が出来、急な注文に対応できるようになった。**

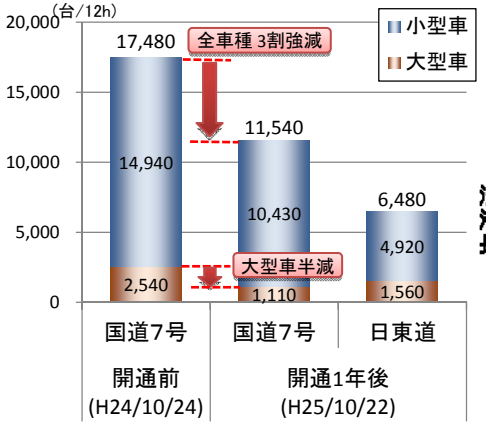
③ 渋滞の大幅緩和、地域交通の定時性向上

・開通後は**国道7号の交通量は約3割減少、大型車は半減。**
（開通前は仁賀保前田交差点で渋滞発生）
・仁賀保前田交差点の**渋滞長、通過時間が最大で90%減少。**

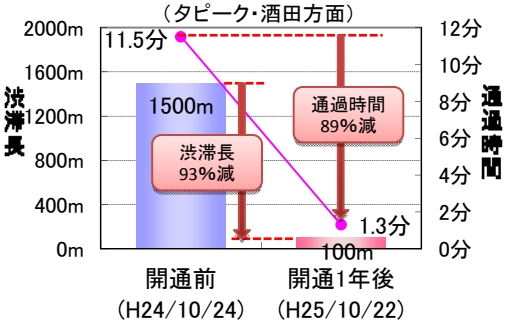
▼仁賀保前田交差点の変化



▼昼間12時間交通量の変化（仁賀保IC～金浦IC間）

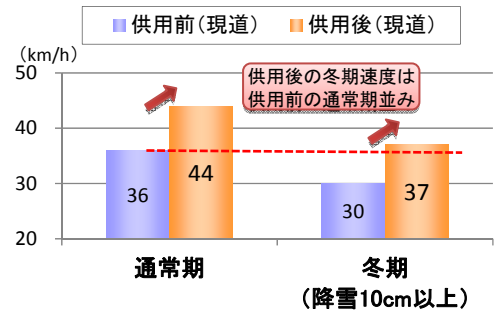


▼仁賀保前田交差点における渋滞状況の変化
（タピーク・酒田方面）



・渋滞緩和により**現道の速度も向上**。特に、**速度が低下する冬期においても効果**を発揮。

▼金浦IC～仁賀保ICにおける走行速度の変化
（下り、朝7時台、平日）



資料：民間プローブデータから算出（国道7号経由）。
・通常期：（供用前）H24年4～6月、（供用後）H25年4～6月。
・冬　期：（供用前）H23年12月～24年2月、（供用後）H24年12月～25年2月。ただし、日降雪10cm以上の日に限る。

◆地域の大切な足である路線バスの定時性が向上

・開通前の**遅れは、ピーク時間帯で30～40分程度**（通常期）。
・**冬期はさらに遅れ**ていました。
・仁賀保地区の**朝夕の混雑は大幅に改善した**と思います。



（バス事業者ヒアリングより）